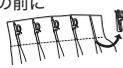
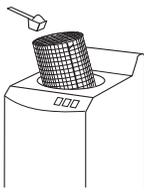
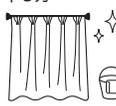
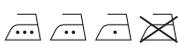


# カーテンのお取り扱いについて

- 普段のお手入れ**
- カーテンの汚れのほとんどは、空気中のホコリが付着したものです。通常のお掃除の間に掃除機のブラシ付きアタッチメント等を利用してやさしく表面のホコリを吸い取ってください。特にヒダ山の部分や、タッセルでまとめた部分はホコリがたまりやすいので念入りに行ってください。
  - タバコのヤニやキッチンの煙は、時間が経つほど落ちにくくなります。ドレープカーテンは年に1回、レースは半年に1回程度のお洗濯をおすすめします。
- 伸び縮み**
- 繊維の性質上、特にレーヨンや綿・麻素材を使用したカーテンは伸縮することがあります。カーテンは高温多湿の環境をさいますので、室内環境を適切な状態に調節することが大切です。
- カーテンのニオイ**
- カーテンの素材の中には麻などのように固有のニオイを発するものがありますが、人体への影響はありません。気になる場合はこまめに換気をしてください。時間とともに薄れていきます。

## ご家庭でお洗濯する場合の注意点

<p>お洗濯の前に</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カーテンの裏に縫い付けてある洗濯ラベルで、洗い方を確認してください。(下記の洗濯表示の説明をご参照ください。)</li> <li>●上部のフックを全てはずして、ホコリを払い、シワにならないように屏風たたみにします。</li> </ul>
<p>洗ひ方</p> 	<p><b>40</b> ご家庭の洗濯機で洗う場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一度に洗うのは1〜2枚まで。色移りしますので、他のものと一緒に洗わないでください。</li> <li>●洗濯ネットに入れると型ずれを軽減できます。</li> <li>●水量は「最大」、水流は「弱」に設定し、40℃以下のぬるま湯か水で洗ってください。</li> <li>●洗剤は普段お使いになっている洗濯洗剤か、デリケートな衣類用の中性洗剤をご使用ください。</li> <li>●すすぎの際、柔軟剤を入れると風合いが良くなります。</li> </ul> <p><b>手洗い・つけ置き洗ひする場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●もみ洗ひはシワの原因となるため、40℃以下の水かぬるま湯でやさしく押し洗ひしてください。その他は洗濯機洗ひと同じです。</li> <li>●汚れがひどいカーテンには「つけ置き洗ひ」をおすすめします。水温は30〜40℃程度で、30分〜1時間程度つけた後、洗濯機か手洗いで洗濯してください。</li> </ul>
<p>脱水・干し方</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脱水時間が長いとシワがとれにくくなりますので、ドレープで1分、レースなら30秒程度にとどめてください。</li> <li>●窓まわりの拭き掃除を済ませておくと、洗ったばかりのカーテンに汚れが付くのを防げます。</li> <li>●元々掛けてあったレールに戻して吊り、軽くシワを伸ばすようにして形をととのえ、自然乾燥させてください。</li> <li>●屋外に干す場合は日陰で乾かしてください。</li> <li>●乾燥機は使用しないでください。</li> </ul>
<p>アイロン掛け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず洗濯表示でアイロン掛けが可能かどうか、また適切な温度やあて布の有無を確認してください。</li> <li>●繊維の素材による温度の目安は 綿・麻・・・140〜200℃ (中〜高温) ポリエステル・・・140〜160℃ (中温) アクリル・アクリル系・レーヨン・・・80〜120℃ (低温)</li> </ul>
<p>漂白</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色落ちや白抜けの原因となるため、塩素漂白はしないでください。</li> </ul>

## 洗濯ラベルについて

- 各商品に添付されている洗濯ラベルをご確認の上、洗濯を行ってください。
- ラベルには品番、組成、洗濯方法が記載されています。お問い合わせの際は、こちらをご参照ください。

表面(例)



裏面(例)



- ※洗濯の際はトラブルを防止するため、フックやアクセサリをはずしてください。洗濯後、脱水する場合は軽くかけ、陰干ししてください。乾燥機は使用しないでください。
- ※洗濯機にて洗濯される場合は洗濯ネットのご使用をおすすめします。
- ※天然繊維、再生繊維製品につきましては、洗剤・乾燥等の洗濯環境によって形態変化が生じる恐れがあります。クリーニング専門店にご相談されることをおすすめします。

## 洗濯表示の説明

日本産業規格に基づいた各々の表示とその説明です。

洗濯処理		液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。		液温は、40℃を限度とし、手洗ひによる洗濯処理ができる。
		液温は、30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。		洗濯処理はできない。
漂白処理		塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。		漂白処理はできない。
		底面温度200℃を限度として、アイロン仕上げ処理ができる。		底面温度110℃を限度として、スチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
アイロン仕上げ処理		底面温度150℃を限度として、アイロン仕上げ処理ができる。		アイロン仕上げ処理はできない。
		日陰でのつり干し乾燥がよい。		
ウエットクリーニング処理		ウエットクリーニング処理ができる。通常の処理		
		パークロロエチレン及び記号⑥の欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理ができる。弱い処理		
ドライクリーニング処理		石油系溶剤(蒸留温度150℃〜210℃、引火点38℃〜)でのドライクリーニング処理ができる。弱い処理		
		ドライクリーニング処理ができない。		
タンブル乾燥処理		洗濯後のタンブル乾燥はできない。		
付記用語		洗濯用ネット使用/あて布使用		

※上表は「JIS L 0001の洗濯表示記号」における、サンゲツカーテン該当部分を抜粋したものです。